

へいわ いの 平和を祈ろう

お づる しょくじよ し
～折り鶴の少女を知っていますか～



平和の願いが込められたお花の折り紙を配布します。

この折り紙は、広島の平和記念公園に全国から捧げられた折り鶴の再生紙を
使用しており、たくさんの人々の平和への祈りが込められています。

8月6日(水) 10:00 から

喜平図書館正面玄関付近「戦争と平和の本」展示コーナーで
中学生までの児童を対象に先着30個配布します



お づるさいせいし しら
折り鶴再生紙のことを調べてみよう

う HISHI SHO
「生まれかわるヒロシマの折り鶴」

さとう ますみ ちょ ちようぶんしや
佐藤 真澄/著 汐文社

なぜ広島の平和記念公園には全国から折り鶴が届くのだろう

きっかけは、佐々木禎子さんという少女です。佐々木禎子さんは、2歳のときに広島で被爆しましたが、その後元気に成長しました。しかし、小学校6年生の秋に突然白血病と診断されて病院に入院することになりました。回復を願って薬の包み紙などで鶴を折り続けましたが、8ヶ月の闘病生活の後に亡くなりました。折られた鶴は千羽を超えていたそうです。禎子さんの死をきっかけに、原爆で亡くなった子どもたちの靈を慰め平和を築くための像をつくろうという運動が始まり、全国からの募金で広島市平和記念公園内に「原爆の子の像」が完成しました。その後この話は世界に広がり、今も「原爆の子の像」には日本国内をはじめ世界各国から折り鶴が捧げられ、その数は年間約一千万羽にものぼるそうです。